

●グローバル・ラップ（日本債券ファンド）

（マザーファンドの投資一任先：三井住友信託銀行株式会社）

（データは2012年4月27日現在）

〔純資産総額〕 1.12億円

〔基準価額〕 10,670円

〔決算日〕 原則3月25日

〔信託期間〕 無期限

〔設定日〕 1998年5月29日

<運用担当者のコメント>

◎当月の運用概況

4月の10年国債利回りは、日銀の追加緩和期待により低下基調となり、月末には0.9%を割れました。

初旬は1.0%半ばまで上昇しましたが、中国景気の減速懸念、スペインをはじめとした欧州債務問題の再燃などから、10年国債利回りは低下基調となりました。月末にかけては、日銀による追加緩和期待を背景に低下基調が強まり、月末の日銀の金融政策決定会合では資産買入基金の買入額の増額等を決定し、10年国債利回りは0.9%を割り込みました。

信用スプレッドは、欧米金融銘柄のスプレッドが縮小したことで円建外債のスプレッドは縮小しました。一方で、業績の悪化した電機セクターなどは銘柄によってはスプレッド拡大基調が継続しました。

運用戦略面では、月初にデュレーション中立ポジションから長期化へ変更し、長期化幅拡大等を行いました。イールドカーブについては、長期ゾーンをオーバーウェイトとしました。また、月末にかけては追加緩和をやや織り込み過ぎと判断し、フラット化に対応したポジションに変更しました。スプレッド戦略については、短期ゾーンの一般事業債を組み入れました。

運用パフォーマンスは、デュレーション戦略については、概ね長めのデュレーションとしていたことがプラスに寄与しました。イールドカーブ戦略については、長期ゾーンのオーバーウェイトがプラスに寄与し、月末にかけてのフラット化ポジションもプラスに寄与しました。スプレッド戦略は、全体として信用スプレッドが概ね横ばい推移となり、銘柄選択と合わせ、プラスに寄与しました。

◎今後の運用方針

米国を中心とした海外景気動向、日米の金融政策と為替などが市場のテーマとなっています。欧州債務問題は先読みしにくい材料ながら、流動性指標は落ち着いています。景況感を左右する米国景気については、ピークアウトするきっかけが現状見出しにくく、今後は悲観論と楽観論を繰り返す可能性が高いと考えています。一方、金融政策については、足元の金利低下や日銀の金融緩和スタンスからすぐに金利上昇局面入りするとは考えにくいものの、グローバル経済の上振れを意識して、一時的な金利上昇局面も想定できます。

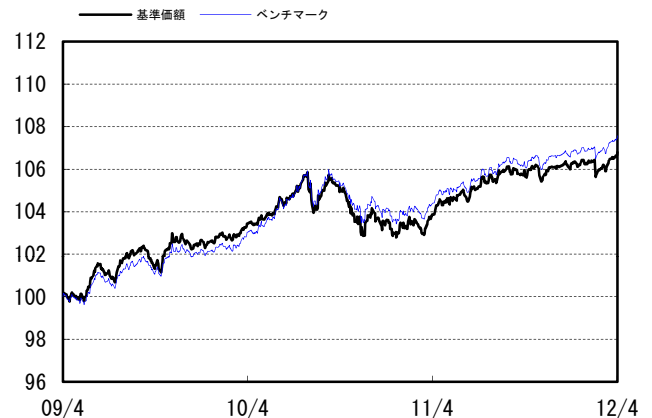
以上を踏まえて、デュレーション戦略は現状の長期化ポジションを維持し、金利低下局面では短期化、金利上昇局面では長期化を検討します。イールドカーブ戦略は、フラット化に対応したポジションの維持を検討します。スプレッド戦略については、より慎重な銘柄選択を行っていきます。

<分配金込み基準価額のパフォーマンス>

	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	0.49%	1.13%	2.82%	6.80%	14.70%
ベンチマーク	0.70%	1.44%	3.05%	7.58%	28.88%

※基準価額の騰落率およびグラフのデータは分配金（税引前）を再投資し計算しています。

<分配金込み基準価額の指数化グラフ> （2009年4月30日を100として指数化）



※ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス（総合）です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はSMB C日興証券株式会社に帰属します。

※基準価額は、信託報酬（年率0.651%（税抜0.62%））控除後の値です。

<分配金実績（税引前）>（円）

08/3/25	09/3/25	10/3/25	11/3/25	12/3/26
100	30	30	30	30

<資産構成比>

公社債	97.9%
うち先物	0.0%
CB	0.0%
株式	0.0%
現金その他	2.1%

<格付別構成比>

AAA	0.0%
AA	78.2%
A	17.2%
BBB	4.5%
BB以下	0.0%
無格付	0.0%

<組入債券明細>

	額面(百万円)	評価額(百万円)	組入率	うちBB以下	平均残存	5年以上	2年以上	2年未満
国債	31,300	32,661	67.4%	0.0%	10.0	50.6%	6.5%	10.3%
地方債	100	109	0.2%	0.0%	13.7	0.2%	0.0%	0.0%
特殊債	2,900	3,110	6.4%	0.0%	12.2	3.2%	3.2%	0.0%
金融債	0	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%
普通社債	11,700	11,782	24.3%	0.0%	3.7	4.8%	15.1%	4.4%
その他	0	0	0.0%	0.0%	0.0	0.0%	0.0%	0.0%

※「格付別構成比」「組入債券明細」は、マザーファンドの状況です。

※「資産構成比」「組入債券明細」の比率は対純資産総額、「格付別構成比」の比率は対組入債券時価総額です。

※「分配金実績」の分配金は、1万口当たりの実績です。

※「平均残存」は平均残存年数の略（単位：年）です。

※「普通社債」には投資法人債を含みます。

※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

2012年4月27日現在

■お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／国内／債券
お申込単位 : お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間 : 無期限（1998年5月29日設定）
決算日 : 毎年3月25日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。
※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■手数料等の概要

- お客様には、以下の費用をご負担いただきます。
＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞
・お申込手数料：申込時におけるお申込手数料はありません。
・換金手数料：ありません。
・信託財産留保額：ありません。
＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞
・信託報酬：純資産総額に対して年率0.6510%（税抜0.62%）を乗じて得た額
・その他費用：組入る有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息など
※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様ที่ファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社 : 三井住友信託銀行株式会社
日興グローバルラップ株式会社
日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社 : 野村信託銀行株式会社
販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
〔ホームページ〕 <http://www.nikkoam.com/>
〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

- ・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

信用リスク

- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

2012年4月27日現在

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資家の皆様に「グローバル・ラップ」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○